

学びの 広場

元気で若々しく、
新舞踊サークル



平成八年の六月に発足した新舞踊サークル。月日の経つのは早いもので今年で十年になりました。

毎月、仙南交流センターのホールで第二、四木曜日の午前九時半から一時間半のお稽古をしております。

最初は簡単な輪踊りから始まりましたが、段々慣れてきて難しい扇の使い方もできるようになりました。毎年、年二回、春と秋にステージ発表をして、楽しんでいただけるようになりまして。昨年は美郷町になって初めての美郷町芸能発表会のステージに立ち、また少し自信を深めたところで、

昔懐かしい歌や、今の流行歌などを聴きながら、頭から足の先まで使い真剣にお稽古に取り組んでおります。踊っている会員の姿を見ていますと、心から楽しみながら本当に熱心に頑張っております。時には、ホールいっぱい

に笑いが響き、大変なお稽古の中にも和やかな雰囲気があります。月二回、仲間と顔を合わせることが待ち遠しくて、「身体を動かすことは健康のため」と言っては喜んでお稽古に励んでいる会員達です。

仲間に入って踊ってみたいなあと思う方どうぞお気軽においでください。お待ちしております。

(生涯学習奨励員 鈴木ヒデア)



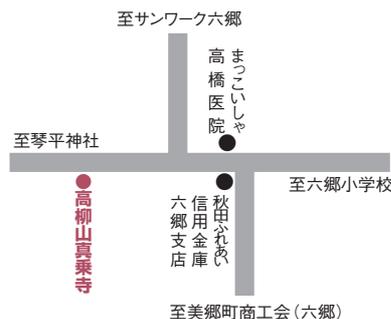
美郷町六郷地区は寺院が多いことで知られていますが、板碑が多くあることでも知られており、これまで31基が確認されています。

板碑とは、鎌倉時代後半に関東に発生し、南北朝期に全盛期を迎え、織豊期にかけて造られた供養塔です。板状に加工した石材に仏を一字で表す種字を刻んだもので、死者の追善や後世の安楽を願って、地方へ広まったとされています。現代では卒塔婆につながるものといえるでしょう。

関ヶ原合戦後、初代秋田藩主佐竹義宣の父義重が六郷城に入ったとき、居住場所を造るため、高柳山真乗寺を現在の場所に移転させ、館を建設して居住しました。そのとき、室町時代前半まであったとされる安楽寺のいろいろな板碑を六郷城に庭石として移して祀っていたとされています。義重の死後、六郷城は廃城となったため、この石は真乗寺に受けつがれたものといわれています。

真乗寺には8基の板碑が残っており、このうち最も大きいのは応安二年(一三六九)の阿弥陀三尊碑で、六郷地区では最も古いものです。また、他に紀年が分かるものでは、康暦二年(一三八〇)の阿弥陀如来碑があります。他に板碑群の種子には、大日如来、地藏菩薩、隆三世明王などがあります。

鎌倉武士の信仰に強い関連があるものと考えられ、鎌倉期、関東から入部したとされる二階堂氏の影響も考えられています。



阿弥陀三尊碑(応安二年)
高さ115cm、幅100cm

文化財 探訪

No.8 真乗寺板碑群

短歌

新米のあきたこまちを満載し倉庫へ向ふ秋はたのもし

金沢西根 小野寺龍治

分校を巣立ちし子等は遙かにてふる里の唄今も偲ばゆ

畑屋 本間 精一

秋空に子ども等の声こだまして美郷の未来の栄ゆるを見ゆ

六郷 岩田 貞

行く秋に遺影のこりて空き家かな詠みて帰るを亡妻ほほえみて

金沢西根 東海林甚平

夜半降りし小雨も止みて朝の陽に楓葉末の雫きらめく

金沢 北嶋 カネ

恙無く共に八十路の三姉妹四方山話弾むしあわせ

金沢 斉藤 静子

十五夜の月の明かりで野良仕事遠い昔が今懐かしむ

六郷 鈴木 久子

秋の日が斜めにさして東山の山ひだ照りて朱に染めゆく

金沢 伊藤 敏子

九十七子の顔を忘れフルネーム呼べば解ってハイと返事

六郷 籠谷 ミチ

ねたきりの退院喜ぶ母を押す車椅子から金払ったか

六郷 藤本 昇

フィルムに並ぶ頭蓋の断面をやさしく語り医師は腕組む

浪花 田沢 正義

秋収め巡り巡りて一句得し

金沢西根 加藤 省市

屋内と言えど笑顔の運動会

金沢西根 加藤 栄子

黄金色今では刈り終へ冬支度

上深井 田中 重吉

コスモスやもみじも紅く秋深し

六郷 塩寺 栄子

晩秋の夕空染める茜雲

六郷 高橋 ゆき

朝露の庭に蜻蛉のゐて静か

六郷 煙山 善吉

長々と紅葉垣根の小学校

畑屋 高橋 周平

草蝨まとい身振る子猫かな

千屋 戸澤 陽子

肌寒き露天湯無心にランプ揺れ

本堂城回 杉山 信一

孫達は空約束を覚えてる

六郷 飯詰 草薙 松雪

開けたても吾が一人なる障子張り

六郷 飯詰 小林 正仁

垂れ下がる稲穂を雀つづぐごと

六郷 飯詰 熊谷 順子

風鈴に夏のあつさをしまい込む

六郷 飯詰 熊谷 順子

川柳

俳句



竹村 心羽ちゃん

(大畑 / 慶信さん・木綿子さん)

「早く大きくなって遥翔兄さんといっぱい遊びたいな。」



▲「柿」
六郷 坂本 和子



▲「優」
金沢西根 高橋亜希子

募集

します

あなたの作品やお便りを募集します

あなたの作品やお便りなどを「広報美郷」の紙面で発表してみませんか。

【応募方法】次の①、②を記入のうえ、ご応募ください。

①作品(短歌、俳句、川柳、イラスト、お便りなど)

※短歌等は楷書で、漢字には読み仮名をお願いします。

②応募される方のお名前、ご住所、電話番号

【締め切り】11月17日(金)

【その他】・応募者が多数の場合は、掲載できない場合があります。作品は1点とします。

・作品の内容が広報掲載上好ましくないと町で判断した場合は掲載しません。

「美郷の赤ちゃん」を募集します

● あなたのかわいい赤ちゃんを「広報美郷」の紙面で紹介し、思い出の1つとしませんか。

● なお、平成18年12月号では、平成18年10月に生まれた赤ちゃんの写真を募集します。

● 【応募方法】次の①、②をそろえてご応募ください。

● ①赤ちゃんが写っている写真(1枚)

● ※裏面にご両親と赤ちゃんのお名前、赤ちゃんの生年月日、ご住所、電話番号を記入すること。

● ※ご応募いただいた写真は、原則として返却しません。

● ②ご両親(ご家族)からのメッセージ(30字以内) ※様式は自由

● 【締め切り】11月17日(金)

【応募先】次のいずれかの場所にご応募ください。

● 役場(六郷庁舎)町長公室 ● 役場各庁舎の総合サービス課 ● 美郷町のメール(info@town.misato.akita.jp)